

令和7年度林業関係事業体若手職員研修会の開催について

1 はじめに

林業の担い手は高齢化・減少傾向にあり、特に若年層の確保・育成が急務であることから、花巻農林振興センターでは、例年、若手林業技術者を対象とした研修会を開催しています。

今年度は、デジタル化された森林情報を効率的に利用できる技術者を育成するため、GISソフトの基本操作について研修会を開催しましたので、情報提供します。



研修の様子・持参のパソコンでQGISを操作

2 研修会の概要

研修会は、令和8年1月30日に花巻地区合同庁舎で開催しました。参加者は、花巻管内の森林組合、林業事業体、管内市町の職員10名で、多くの方がGISの未経験者でした。

GISの基礎知識や基本操作を学ぶために、「QGIS」を実際に操作し、森林クラウドシステムからダウンロードしたシェープファイルの表示や、そのシェープファイルと森林簿データの結合などを行いました。

表示までの手順が複数あると、操作に遅れる方もいましたが、職員がサポートしながら全員

が表示できるよう進行了ました。

また、森林整備事業の補助金申請書作成に使用する「岩手県造林補助システム」の施業図作成支援ツールの操作についても紹介しました。測量野帳を入力して作成した図面を、シェープファイルとして保存することで、QGISや森林クラウドシステムに表示でき、これまで施業を行った場所の確認もできるため、参加者からは「これ良いね!」といった声も聞かれました。

3 おわりに

今回の研修は、GISを初めて操作する参加者が多かったため、操作手順ごとにゆっくり進めたこともあり、研修後のアンケートでは「(概ね)理解できた」が半数で、「理解できなかった」との回答はありませんでした。

また、今後の研修として、「最新の測量機器の活用方法」や「補助金申請に使用するデータでの実践」など、実務に活用できる内容の要望が寄せられました。

引き続き、若手職員の支援に取り組んでいきたいと考えています。



基礎知識・操作について説明